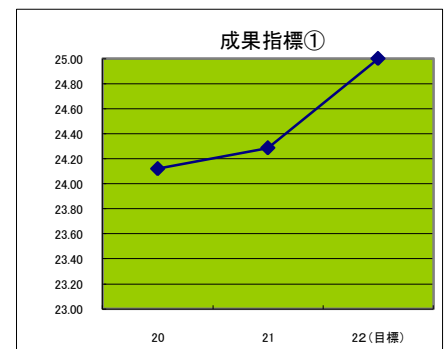
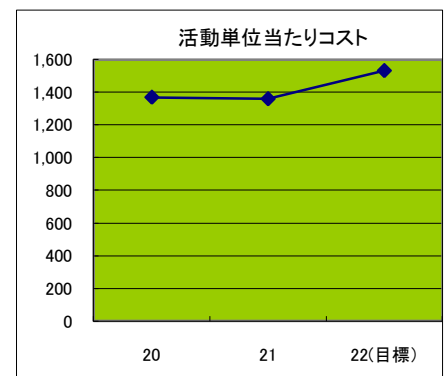


事務事業名		納期前納付報奨金事業		予算科目	会計	2	国民健康保険特別会計
					款	1	総務費
					項	2	徴収費
					目	2	納入奨励費
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	事業	1	納入奨励費	
	施策(節)	1	保健・医療				
	施策の方向						
関連する計画等				作成部署 保健福祉部保険健康室保険年金課			
対象(誰を・何を)				連絡先 072 - 958 - 1111 内線 1750			
事業の目的				国民健康保険料納付 意図(どういう状態にしたいのか) 納付の確保			
事業の内容				国民健康保険仮算定、本算定時の納期前納付の報奨金事業			
根拠法令等				羽曳野市国民健康保険条例、羽曳野市国民健康保険条例施行規則			
事業開始時期				☐ 昭和 年開始 ☒ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度 ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望							
実施手法				☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()			
委託先				委託内容			
				☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他			

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		9,193	9,203	11,000
人件費【2】 (千円)		3,750	3,750	3,750
職員数	正規職員	0.50 人	0.50 人	0.50 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		12,943	12,953	14,750
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	12,943	12,953	14,750
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 納期前納付件数	件	9,450	9,524	9,630
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		1,370 円	1,360 円	1,532 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		108 円	109 円	124 円



成果指標	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度	平成22年度
	①	納期前納付率 (式) (納期前納付件数÷2)÷国保世帯数×100	%	全世帯に対する納期前納付件数を確認することにより制度利用度を見る(ただし、仮算定・本算定の2回の機会があることから2分の1で計る)	目標	25.00	25.00	達成率(%)
					実績	24.12	24.29	97.1%
	②	(式)			目標			達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	高い利用率があり保険料納付勧奨に多いに寄与している。
								○			

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	納付への勧奨は様々な制度において、柔軟に工夫を図られており、その効果は大きい。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	緊急性が認められる	☐	☐	☒	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	利用されることにより、保険料収納額、収納率への寄与は大きい。
	受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	利用されることにより、保険料収納額、収納率への寄与は大きい。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☐	☐	☒	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒	
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	収納率向上に寄与している。
	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	納付勧奨として必要である。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
行 事 本 部 評 価	保険料の収納額、収納率の維持向上への寄与は大きいですが、公平性の観点から制度のあり方について検討を行う。
	総合評価 評価理由・意見 ☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了